

* 2020年 5月改訂(第6版)
2006年 12月改訂(第5版)

貯法等 保存条件: 室温保存
容 器: 気密容器

日本標準商品分類番号 872344

承認番号 16000AMZ06584000
薬価収載 1951年 2月
販売開始 1951年 2月
再評価結果 1979年 7月

制 酸 薬

日本薬局方 沈降炭酸カルシウム

沈降炭酸カルシウム「ヤマゼン」M

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者 [カルシウム代謝異常により、高カルシウム血症を引き起こす恐れがある。]

【組成・性状】

組成: 本品 1g 中、日本薬局方沈降炭酸カルシウム 1g を含有する。

性状: 本品は白色の微細な結晶性の粉末である。

【効能・効果】

下記疾患における制酸作用と症状の改善

胃・十二指腸潰瘍、胃炎 (急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常 (神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む。)

【用法・用量】

沈降炭酸カルシウムとして、通常成人 1日 1～3g を 3～4回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 腎障害のある患者 [腎でのカルシウム・リン排泄の異常をきたす恐れがある。]
- (2) 心機能障害のある患者 [臓器内石灰化として沈着し不整脈を生じやすい。]
- (3) 肺機能障害のある患者 [臓器内石灰化として沈着し咳嗽を生じやすい。]
- (4) 便秘のある患者 [非吸収性のため、腸粘膜表面を覆い、沈着し水分の分泌を減ずる。]
- (5) 高カルシウム血症の患者

2. 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 ミノサイクリン、ドキシサイク リン、テトラサイクリン等	テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害する ことがある。同時に服用しないこと。	カルシウムがこれらの薬剤と難溶性のキレート を形成し、吸収を阻害すると考えられる。
他の併用薬剤	併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。 慎重に投与すること。	本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇に よる。
活性型ビタミンD アルファカルシドール、カルシ トリオール等	高カルシウム血症があらわれやすくなる。 このような症状があらわれた場合には本剤あるいは 活性型ビタミンDの減量又は投与を中止すること。	活性型ビタミンDはカルシウムの吸収を促進 する。
強心配糖体 ジギタリス、ジゴキシン等	強心配糖体の作用が増強されることがある。 慎重に投与すること。	
大量の牛乳、カルシウム製剤	milk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素 血症、アルカローシス等)があらわれることがある。 観察を十分に行い、このような症状があらわれた 場合には投与を中止すること。	
* ロキサデュスタット	ロキサデュスタットと併用した場合、ロキサデュ スタットの作用が減弱するおそれがあるため、併 用する場合は、前後1時間以上あけて本剤を服用 すること。	ロキサデュスタットを酢酸カルシウムと同時投 与したところ、ロキサデュスタットのAUC _{inf} が 低下した。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類 \ 頻度	頻度不明
代謝異常	高カルシウム血症、アルカローシス等の電解質失調 注1)
長期大量投与	腎結石、尿路結石
消化器	悪心、便秘、下痢、胃酸の反動制分泌等
過敏症	痒痒感

注1) 異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行う。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効薬理】

本薬は不溶性カルシウム剤の一種で制酸作用を呈し、また吸着作用も現すので胃潰瘍及び胃酸過多症に制酸薬として用いる。

また高リン血症にも用いられる。胃酸とは次式のように反応する。



生じた塩化物は腸へ移行して腸液のアルカリとの反応により再び炭酸塩に変化した後、排泄される。大量投与により吸収性制酸薬となり、アルカローシスを生じる。また便秘を起こす傾向がある。本薬1gは0.1mol/L塩酸約200mLを中和する効力がある。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：沈降炭酸カルシウム (Precipitated Calcium Carbonate)

分子式：CaCO₃

分子量：100.09

性状：本品は白色の微細な結晶性の粉末で、におい及び味はない。水にほとんど溶けないが、二酸化炭素が存在すると溶解性を増す。本品はエタノール (95) 又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は希酢酸、希塩酸又は希硝酸に泡立って溶ける。

【包装】 500g

【主要文献】 日本薬局方解説書 廣川書店

【文献請求先】 山善製薬株式会社 学術室 TEL06-6231-1821 FAX06-6231-1824
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号

製造販売元



山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号

